自然環境保全基礎調査総合解析との連携

参考資料4

JBO4・中間提言への活用<凡例>

〇：指標として活用する

△：JBO4本体には活用するが、中間提言にはデータが間に合わないもの

×：活用しない

自然環境保全基礎調査総合解析名称（仮）	概要	出力形式	JBO4での活用	中間提言での活用	JBO4での指標名称
絶滅危惧種の集中地域（全種、分類群別、種別）	解析対象の分類群は鳥類、両生類、昆虫類（ハンミョウ類、トンボ類、チョウ類）	全国2次メッシュ図、メッシュ数集計（都道府県別・地方別）	○	○	絶滅危惧種の分布
絶滅危惧種の集中地域（ハビタット別）	鳥類は森林・開放地・水辺・海鳥、両生類は流水・止水、昆虫類のうちハンミョウ類は海浜・裸地、チョウ類は開放地・森林・高山、トンボ類は流水・止水で区別。	全国2次メッシュ図、メッシュ数集計（都道府県別・地方別）	×	×	
絶滅危惧種の集中地域（減少要因別）	減少要因は「環境省レッドデータブック」で種ごとに専門家が判定した存続を脅かすと考える要因を用いた。それぞれの内容から、第１～４の危機に基づいて集約して使用。	全国2次メッシュ図、メッシュ数集計（都道府県別・地方別）	○	○	減少要因別の絶滅危惧種の確認種数の分布（第1の危機～第4の危機）
絶滅危惧種とホットスポットとの比較	日本の絶滅危惧種の集中地域と、それに類似する概念で抽出された事例としてKBA(コンサベーションインターナショナル, 2011)、重要野鳥生息地（IBA）（バードライフインターナショナル , 2003)	全国地図、重ね合わせ？	×	×	
レッドリストインデックス	希少種室に確認の上、算出されたレッドリストインデックスの値を引用。	単年度or経年変化グラフ？	重複	重複	GB レッドリストインデックス
元・普通種の集中地域（全種、分類群別、種別）	解析対象の分類群は哺乳類、鳥類、両生類、淡水魚類、昆虫類（甲虫類、ハンミョウ類、トンボ類、チョウ類）	全国2次メッシュ図、メッシュ数集計（都道府県別・地方別）	○	○	元・普通種の分布
元・普通種の集中地域（ハビタット別）	鳥類は森林・開放地・水辺・海鳥、両生類は流水・止水、昆虫類は海浜・裸地・開放地・森林・高山・流水・止水など。魚類は区分なし。	全国2次メッシュ図、メッシュ数集計（都道府県別・地方別）	×	×	
特定鳥獣の分布拡大状況	対象種は第一種特定鳥獣保護計画・ 第二種特定鳥獣管理計画 の対象種 である 中大型哺乳類（シカ、イノシシ、クマ、ニホンザル、カモシカ） 時期は第1期（1978年）、第2期（2003年）、第3期（2014年）、第4期（2020年）の4年代	全国 5kmメッシュ図、メッシュ数集計（都道府県別・地方別）	○	○	B18-1 ヒグマ・ツキノワグマの分布変化
ニホンジカ・イノシシの推定生息密度	鳥獣保護管理室より提供のデータ。2015年と2023年の推定値。	全国 5kmメッシュ図、変化率など鳥獣室の報告（記者発表）を引用	○	○	ニホンジカ・イノシシの推定生息密度
特定外来生物の分布拡大状況（種別）	対象種は特定外来生物のうち143種（哺乳類9種、鳥類6種、爬虫類6種、両生類3種、淡水魚類7種、昆虫類6種、甲殻類2種、クモ・サソリ類2種、軟体動物2種） 時期は～80年、80年代、90年代、2000年代、2010年～	全国2次メッシュ図、年代別メッシュ数集計（都道府県別・地方別）	○	○	特定外来生物の種の分布
気候変動指標種の分布変化状況（種別）	哺乳類・鳥類・両生類・淡水魚類・昆虫類（セミ類・チョウ類・トンボ類）について、各種報告書、図鑑等をもとに候補種を選定（特に分布の低温側で拡大傾向がある種と、温暖な地域に分布が偏る（南方性）種を中心とする）。 時期は～80年、80年代、90年代、2000年代、2010年～	全国2次メッシュ図、年代別メッシュ数集計（都道府県別・地方別）	○	○	気候変動指標種の分布変化
森林・自然草原の分布変化	森林を含む土地利用変化（植林を除く森林、植林、草原、農耕地、市街地等）、植生区分の変化、植生自然度の変化、主要な群落の面積変化（2時点比較）。バイオームごとの群落面積集計も試行。	植生図（2時点）、面積集計（全国、地方別、都道府県別）	○	○	NB 森林生態系面積
森林・自然草原の連続性	第3～5回植生図（2000年以前）と第6・7回植生図（～2023年）の植生凡例のうち森林（植林を含む／含まない）、および草地（農地を含まない）を用いたECA解析	ECA解析結果の集計表・グラフ（全国、地方別）	○	○	NB, JB(B17-1) 生態系の連続性・生態系ネットワーク指数のうち森
森林の重要地域の分布	過去に指定された重要地域のうち森林・高山植生を含むもの（すぐれた自然、特定植物群落、マングローブ調査、生物多様性保全のための国土区分ごとの重要地域情報）を抽出	全国分布図（ポリゴン）、面積・個所数の集計（全国・地方別・都道府県別）	×	×	
森林性の絶滅危惧種と元・普通種の集中地域	絶滅危惧種、元・普通種のうちハビタット別分布の「森林性」の種の分布	全国2次メッシュ図、メッシュ数集計（都道府県別・地方別）	○	○	森林性の絶滅危惧種と元・普通種の集中地域
森林における種の減少	モニ1000高山帯、森林・草原調査とりまとめの結果を引用	グラフ等	重複	重複	NB 森林の多様度

自然環境保全基礎調査総合解析名称（仮）	概要	出力形式	JBO4での活用	中間提言での活用	JBO4での指標名称
里地里山の分布（里地里山メッシュ、Satoyama Index）	過去に第3～5回植生図（2000年以前）の3次メッシュ植生図を用いて算出された里地里山メッシュ（新・生物多様性国家戦略の国土の里地里山が占める割合の算出元）、および日本全国さとやま指数メッシュデータ（国立環境研究所, 2014）	全国2次メッシュ図、全国3次メッシュ図	重複	×	B20-4 里地里山地域（農地とその他の土地被覆のモザイク性を指標とした里地里山地域の分布）
第2の危機（放棄農地の分布、竹林拡大、マツ枯れなど）	第3～5回植生図（2000年以前）と第6・7回植生図（～2023年）の比較に基づく。放棄果樹園は「アカメガシワ・エノキ群落（中国·四国ブロック）」で集計。放棄農地は「放棄水田雑草群落、放棄畑雑草群落」で集計。また竹林､マツ林、二次草原についても凡例に基づき集計。	植生図（2時点）、面積集計（全国、地方別、都道府県別）	○	○	放棄果樹地の面積、放棄水田の面積、放棄畑地の面積、竹林の面積
農地の連続性	第3～5回植生図（2000年以前）と第6・7回植生図（～2023年）の植生凡例のうち湿地・草地（ともに農地を含む場合）のECA解析を用いて、湿地の代替地としての水田、草地の代替地としての畑地の連続性を評価	ECA解析の集計表（全国、地方別など）	○	○	NB 生態系の連続性・生態系ネットワーク指数のうち草地
里地里山における重要地域の分布	過去に指定された重要地域（第1回すぐれた自然図の社叢林など、重要里地里山、重要湿地（水路・ため池等））の分布状況	全国分布図（ポリゴン）、面積・個所数の集計（全国・地方別・都道府県別）	×	×	
里地里山における絶滅危惧種と元・普通種の集中地域	絶滅危惧種、元普通種のうち、里地里山に生息する種の分布。鳥類は森林・開放地、両生類は止水、昆虫類は開放地・森林・止水など。魚類は区分なし。	全国2次メッシュ図、メッシュ数集計（都道府県別・地方別）	○	△	里地里山における絶滅危惧種と元・普通種の集中地域
里地里山における種の減少	モニタリングサイト1000里地調査2005-2022年度の結果から、鳥類・チョウ類・植物の減少傾向、良好な水辺環境の指標種（ホタル類、アカガエル類）や良好な草原環境の指標種（ノウサギ、カヤネズミ）の減少傾向	グラフ等	重複	重複	NB 農地生態系を構成する種の生息状況
里地里山における特定外来生物の分布拡大状況（種別）	特定外来生物のうち里地里山で分布を拡大している種の分布変化 時期は～80年、80年代、90年代、2000年代、2010年～	全国2次メッシュ図、年代別メッシュ数集計（都道府県別・地方別）	○	△	里地里山における特定外来生物の分布（種別）
里山における気候変動による種の変化	モニタリングサイト1000里地調査2005-2022年度　とりまとめ報告書より、里山の生態系の変化（植物・チョウ類・鳥類での増加・減少傾向）	グラフ等	重複	重複	NB 農地生態系を構成する種の生息状況
都市における緑地面積	第3～5回植生図（2000年以前）と第6・7回植生図（～2023年）の比較に基づく。植生凡例のうち都市計画区域内に分布する緑地（森林、農地、草原、緑の多い住宅地）の面積。	植生図（2時点）、面積集計（全国、地方別、都道府県別）	○	○	都市における緑地面積
都市における森林の連続性	第3～5回植生図（2000年以前）と第6・7回植生図（～2023年）の植生凡例のうち市街化区域内での森林（植林を含む／含まない）を用いたECA解析（R7年度前半に実施）	ECA解析の集計表（全国、地方別）	○	△	生態系の連続性・生態系ネットワーク指数のうち都市の森林の連続性
都市に分布する絶滅危惧種と元・普通種の種数	絶滅危惧種および元・普通種の集中地域（全種、分類群別、種別）のうち市街化区域に分布するメッシュを切り出して種数・メッシュ数などを集計	メッシュ数、種数集計（全国、地方別）	○	○	都市に分布する絶滅危惧種と元・普通種の種
都市に分布する特定外来生物の分布（種別）	特定外来生物の分布するメッシュ数を集計 時期は～80年、80年代、90年代、2000年代、2010年～	メッシュ数、種数集計（全国、地方別）	○	△	都市における特定外来生物の分布（種別）
都市における重要地域の分布	過去に指定された重要地域（第2回基礎調査すぐれた自然図、特定植物群落、重要里地里山、重要湿地など）のうち市街化区域に属するものを抽出	面積・個所数の集計（全国・地方別・都道府県別）	×	×	
魚類相に基づく河川の類型化	過去の基礎調査（河川調査、種の多様性調査等）の淡水魚類の分布データを用いて、全国の1級河川等を類型化。	全国河川図、河川延長などの集計値	×	×	
魚類相に基づく湖沼の類型化	過去の基礎調査（河川調査、種の多様性調査等）の淡水魚類の分布データを用いて、全国の主な湖沼での魚類相の整理。水国との比較は可能。	全国湖沼図、魚類相集計	×	×	
淡水魚類の分布	2次メッシュ単位で全淡水魚類の分布データを2次メッシュで整理	なし	○	△	淡水魚類の分布（種別）
全国の湿地分布とその変化	基礎調査第5回湿地調査におけるデータ、および現存植生図の湿地凡例（高層湿原、中間湿原、低層湿原等）の2時期面積集計。	植生図（2時点）、面積・個所数（ポリゴン数）、パッチサイズ（ポリゴン平均面積）の集計（全国、地方別、都道府県別）	○	○	NB 陸水生態系：高層・中間湿原面積、NB 陸水生態系：低層湿原・湿地面積
湿地の連続性	第3～5回植生図（2000年以前）と第6・7回植生図（～2023年）の植生凡例のうち湿地（農地を含まない場合）のECA解析	ECA解析の集計表（全国、地方別など）	○	○	NB 生態系の連続性・生態系ネットワーク指数のうち湿地

自然環境保全基礎調査総合解析名称（仮）	概要	出力形式	JBO4での活用	中間提言での活用	JBO4での指標名称
重要湿地の分布	過去に指定された重要地域（すぐれた自然図、特定植物群落、重要湿地）のうち湿地性のものを抽出	全国分布図（ポリゴン）、面積・個所数の集計（全国・地方別・都道府県別）	×	×	
陸水生態系に生息する絶滅危惧種と元・普通種の集中地域	絶滅危惧種、元・普通種のうち淡水生態系に生息するものの分布図。鳥類のうち水辺、両生類は流水・止水、昆虫類のうちトンボ類は流水・止水で区別。	全国2次メッシュ図、メッシュ数、種数の集計（都道府県別・地方別）	○	△	陸水生態系に生息する絶滅危惧種と元・普通種の集中地域
陸水生態系に分布する特定外来生物の分布（種別）	特定外来生物のうち両生類3種、淡水魚類7種、甲殻類2種が分布するメッシュ数を集計 時期は～80年、80年代、90年代、2000年代、2010年～	全国2次メッシュ図、メッシュ数、種数の集計（全国、都道府県別）	○	○	陸水生態系に分布する特定外来生物の分布（種別）
過去（80～90年代）の藻場の分布	1980年代（第2回基礎調査）から1990年代（第4回基礎調査）の藻場分布データの比較。	短期間の藻場面積変化（地方別、都道府県別集計）、90年代までの減少面積の大きい藻場の拡大図	○	○	NB 沿岸・海洋生態系（藻場）面積
最近の藻場の分布	基礎調査の藻場調査2018-2020と閉鎖性海域藻場・干潟分布状況調査（環境省水・大気環境局海洋環境課海域環境管理室）を合わせた全国の藻場分布を表示・集計	全国藻場分布図（ポリゴン）、藻場面積集計（全国、海域など地方別）	○	○	NB 沿岸・海洋生態系（藻場）面積
藻場の生物相	調査位置のみR7年度前半にGISデータ化できるか検討（R6年度内に確定）。調査票の可動化は総合解析業務内では実施しない（別業務としての実施可能性を検討）。	データベースのみ（図表出力の予定なし）	重複	重複	NB 沿岸・海洋生態系（藻場）モニタリングサイトにおけるアマモ場・藻場平均被度及び種組成の変化
過去（80～90年代）の干潟の分布	1980年代（第2回基礎調査）から1990年代（第4回基礎調査）の干潟分布データの比較。	短期間の干潟面積変化（地方別、都道府県別集計）、90年代までの減少面積の大きい干潟の拡大図	○	○	NB 沿岸・海洋生態系（干潟）面積
干潟の生物相	調査位置のみR7年度前半にGISデータ化できるか検討（R6年度内に確定）。調査票の可動化は総合解析業務内では実施しない（別業務としての実施可能性を検討）。	データベースのみ（図表出力の予定なし）	重複	重複	NB,JB 沿岸・海洋生態系（干潟）モニタリングサイトにおける干潟の底生生物確認種数・生息密度 NB,JB 沿岸・海洋生態系（干潟）を構成するシギ、チドリの個体数・確認種の変化傾向
過去（80～90年代）のサンゴ礁の分布	1980年代（第2回基礎調査）と1990年代（第4回基礎調査）のサンゴ礁分布データの比較	短期間のサンゴ礁面積変化（都道府県別集計）、90年代までの減少面積の大きいサンゴ礁の拡大図	○	○	NB 沿岸・海洋生態系（サンゴ礁）面積
2000～2022年のサンゴ礁の変化	モニタリングサイト1000における2003年度以降のサンゴ礁変化	サンゴ礁被度の経年変化グラフ	重複	重複	サンゴ礁の白化した地点の割合
サンゴ礁の生物相	調査位置のみR7年度前半にGISデータ化できるか検討（R6年度内に確定）。調査票の可動化は総合解析業務内では実施しない（別業務としての実施可能性を検討）。	データベースのみ（図表出力の予定なし）	重複	重複	NB 沿岸・海洋生態系（サンゴ礁）モニタリングサイトにおけるサンゴ被度
保護地域の状況	自然公園（国立・国定・都道府県立）、自然環境保全地域、鳥獣保護区（国・都道府県）、保護林（森林生態系保護地域、生物群集保護林、希少個体群保護林）の最新の範囲を示す。 保護地域の指定面積変化は、公式の合計面積のみを使用（公式の古いGISデータが公開されていないものが多いため、地図としては経年変化は表示しない）	全国地図、面積集計（全国）	重複	重複	保護地域面積（陸域） 保護地域面積（海域）
絶滅危惧種の集中地域のカバー状況（全種、分類群別、種別）	絶滅危惧種の集中地域のうち既存の保護地域に含まれるもの	メッシュ数、種数集計（全国、地方別）	○	○	保護地域による絶滅危惧種の集中地域のカバー状況
元・普通種の集中地域のカバー状況（全種、分類群別、種別）	元・普通種の集中地域のうち既存の保護地域に含まれるもの	メッシュ数、種数集計（全国、地方別）	○	○	保護地域による元・普通種の集中地域のカバー状況
重要地域のカバー状況	基礎調査（すぐれた自然、特定植物群落、海域調査（藻場・干潟・サンゴ礁、海岸）、河川、湖沼、湿地、マングローブ、巨樹巨木）およびその他重要地域（モニ1000調査地、生物多様性保全のための国土区分ごとの重要地域情報、里地里山メッシュ、Satoyama Index、重要里地里山、重要湿地）のうち既存の保護地域に含まれるもの	面積・個所数集計（全国）	○	○	保護地域による重要地域のカバー状況
自然再生事業実施地域	自然再生事業実施地域27か所の位置	年度別の面積・個所数集計（全国）	×	×	

自然環境保全基礎調査総合解析名称（仮）	概要	出力形式	JBO4での活用	中間提言での活用	JBO4での指標名称
自然再生事業地による絶滅危惧種の集中地域のカバー状況（全種、分類群別、種別）	絶滅危惧種の集中地域のうち自然再生事業地に含まれるもの	メッシュ数、種数集計（全国）	×	×	
自然再生事業地による元・普通種の集中地域のカバー状況（全種、分類群別、種別）	元・普通種の集中地域のうち自然再生事業地に含まれるもの	メッシュ数、種数集計（全国）	×	×	
市民参加によるデータ収集の状況	いきものログに寄せられた登録データ数と登録者数の2次メッシュ集計。登録開始から（2012～2022年の10年間）の経年変化の集計も可能か要検討。	全国メッシュ図、メッシュ数集計（年別、地方別、都道府県別）	○	○	いきものログの登録データ数と登録者数
ニホンジカ・イノシシの分布拡大状況および個体数推定	特定鳥獣のうちニホンジカ・イノシシの分布拡大と推定生息密度のデータを再掲	全国 5kmメッシュ図、変化率など鳥獣室の報告（記者発表）を引用	重複	重複	NB ニホンジカ推定個体数 NB イノシシの推定個体数 ニホンジカとイノシシの推定生息密度
都道府県別農作物被害状況	農林水産省による都道府県別の農作物被害状況（シカ、イノシシ、ニホンザルによる被害金額）の集計	都道府県別集計	重複	重複	NB 全国の野生鳥獣による農作物被害額
ニホンジカ・クマ類による林業被害の状況	森林生態系基礎調査の第３期（2009～2013）および第４期（2014～2018）の調査データから、獣害による剥皮本数を算出	都道府県別集計	重複	重複	主要な野生鳥獣による森林被害面積
ニホンジカによる森林生態系への影響	森林生態系基礎調査の第３期（2009～2013）および第４期（2014～2018）の調査データから、下層植生衰退度（藤木,2012）（以下、SDR）に倣って、低木層と林床植生の被度を算出	地方別集計	○	○	ニホンジカによる森林生態系への影響度の変化
狩猟者の経年変化	狩猟登録証交付状況について４年代（鳥獣保護政策期：1980年、分布拡大期：2005年、分布まん延期：2015年、人口減少期：2019年）で集計し、人口比での経年変化を算出。	都道府県別集計（都道府県色分け地図）	○	○	狩猟者数の変化
自然共生サイト（令和5年度認定分）	自然共生サイト（令和5年度認定分）の状況（申請者区分別、地方別、市街化区域など） ※GISデータ非公開のサイトが含まれるため、位置情報は点のみ表示とし、集計値は全国合計のみを使用。	面積・個所数集計（申請者区分別、地方別、市街化区域内外）	重複	重複	自然共生サイトのうち、企業が申請者であるサイトの数
自然共生サイトによる絶滅危惧種の集中地域のカバー状況（全種、分類群別、種別）	絶滅危惧種の集中地域のうち自然共生サイトに含まれるもの ※GISデータ非公開のサイトが含まれるため、位置情報は点のみ表示とし、集計値は全国合計のみを使用。	メッシュ数、種数集計	○	○	自然共生サイトによる絶滅危惧種の集中地域のカバー状況
自然共生サイトによる元・普通種の集中地域のカバー状況（全種、分類群別、種別）	元・普通種の集中地域のうち自然共生サイトに含まれるもの ※GISデータ非公開のサイトが含まれるため、位置情報は点のみ表示とし、集計値は全国合計のみを使用。	メッシュ数、種数集計	○	○	自然共生サイトによる元・普通種の集中地域のカバー状況
自然共生サイトによる重要地域のカバー状況	基礎調査（すぐれた自然、特定植物群落、海域調査（藻場・干潟・サンゴ礁、海岸）、河川、湖沼、湿地、マングローブ、巨樹巨木）およびその他重要地域（モニ1000調査地、生物多様性保全のための国土区分ごとの重要地域情報、里地里山メッシュ、Satoyama Index、重要里地里山、重要湿地）のうち自然共生サイトに含まれるもの ※GISデータ非公開のサイトが含まれるため、位置情報は点のみ表示とし、集計値は全国合計のみを使用。	面積・個所数集計（全国）	○	○	自然共生サイトによる重要地域のカバー状況
自然共生サイト認定による保護地域の連結性の変化	既存保護地域に自然共生サイトが追加された場合の連結性の変化をECA解析	ECA解析結果の集計表・グラフ（自然共生サイトのある／なし）	×	×	
保安林の分布状況	国有林内の保安林は林野庁国有林GISデータ（令和5年度）から抽出。民有林内の保安林は国土数値情報（森林地域データ）（平成27年度）を使用。 ※保安林の種別は問わず全て一律で扱う（国土数値情報の民有林の保安林データは、種類の区別がないため）	面積集計・グラフ（全国面積合計地は公式値を使用：https://www.rinya.maff.go.jp/j/tisan/tisan/con_2_2_1.html）	○	○	NB 森林の持つ多面的機能を総合的かつ高度に発揮させる保安林の面積
遊水池の分布状況	日本の遊水地ポリゴンデータ（金芝潤・諏訪夢人・西廣淳．2021. 日本の遊水地ポリゴンデータ ver. 1） https://wetlands.info/tools/wetlandsdb/retardingbasin_list/	面積・個所数集計（全国・地方別・都道府県別）	○	○	遊水地の面積

自然環境保全基礎調査総合解析名称（仮）	概要	出力形式	JBO4での活用	中間提言での活用	JBO4での指標名称
防災減災にかかる地域による絶滅危惧種の集中地域のカバー状況（全種、分類群別、種別）	絶滅危惧種の集中地域のうち保安林・遊水地に含まれるもの	メッシュ数、種数集計（全国）	×	×	
防災減災にかかる地域による元・普通種の集中地域のカバー状況（全種、分類群別、種別）	元・普通種の集中地域のうち保安林・遊水地に含まれるもの	メッシュ数、種数集計（全国）	×	×	
防災減災にかかる地域による重要地域のカバー状況	基礎調査（すぐれた自然、特定植物群落、海域調査（藻場・干潟・サンゴ礁、海岸）、河川、湖沼、湿地、マングローブ、巨樹巨木）およびその他重要地域（モニ1000調査地、生物多様性保全のための国土区分ごとの重要地域情報、里地里山メッシュ、Satoyama Index、重要里地里山、重要湿地）のうち保安林・遊水池に含まれるもの	面積・個所数集計（全国）	×	×	
既存の太陽光発電施設立地および施設適地（ポテンシャル）	太陽光発電施設立地および施設適地（ポテンシャル95%以上の立地）の分布（Kimら, 2021のデータを利用）	全国地図（既存の施設はポリゴン、ポテンシャルは100mメッシュ）	重複	重複	生物多様性の重要性と既存の再エネの設置位置
既存の太陽光発電施設立地および施設適地と絶滅危惧種の集中地域の重複状況（全種、分類群別、種別）	絶滅危惧種の集中地域のうち既存の太陽光発電施設立地および施設適地との重複	メッシュ数、種数集計（全国）	○	○	再生可能エネルギー施設と重要地域・絶滅危惧種分布
既存の太陽光発電施設立地および施設適地と元・普通種の集中地域の重複状況（全種、分類群別、種別）	元・普通種の集中地域のうち既存の太陽光発電施設立地および施設適地との重複	メッシュ数、種数集計（全国）	○	○	再生可能エネルギー施設と重要地域・絶滅危惧種分布
既存の太陽光発電施設立地および施設適地と重要地域の重複状況	基礎調査（すぐれた自然、特定植物群落、海域調査（藻場・干潟・サンゴ礁、海岸）、河川、湖沼、湿地、マングローブ、巨樹巨木）およびその他重要地域（モニ1000調査地、生物多様性保全のための国土区分ごとの重要地域情報、里地里山メッシュ、Satoyama Index、重要里地里山、重要湿地）のうち既存の太陽光発電施設立地および施設適地との重複	面積・個所数集計（全国）	○	○	再生可能エネルギー施設と重要地域・絶滅危惧種分布